

中国食品園区と日系食品工場視察

洲澤 輝

<平湖経済技術開発区の視察>

広島県内企業の皆様の「中国ビジネスのヒント」を得ることを目的に、先日、浙江省平湖市にある「愛食客食品（浙江）有限公司（以下、愛食客食品という。）」という静岡県にあるエスエスフーズ株式会社の子会社を訪問し、工場内の視察と担当者との面談を行いました。

<平湖経済技術開発区について>

まず初めに、今回私が訪れた平湖経済技術開発区（以下、平湖開発区という）について紹介をします。

平湖市と広島県との関係を調べてみると、平湖市と広島県府中市は友好都市であることが分かりました。

2004年5月に府中市長をはじめとする訪問団が、平湖市を訪問して以来、友好都市として提携をしています。

平湖市の常駐人口は約79万人であり、上海市、杭州市、蘇州市、寧波市まで車で約1時間から1時間30分で行くことができます。平湖開発区には2018年末時点で、入居企業総数は約1,000社。その内、外資系企業は約300社。外資系企業の内、日系企業は最多の約110社です。平湖開発区は機械・自動車部品産業、食品産業や化粧品医薬産業が盛んです。

なぜ、日系企業が平湖開発区を選ぶのか、その理由について以下が挙げられています。

- ① 日本人が安心して住める生活環境（滞在日本人約1,000人、日式ホテル、日本料理屋40軒、国際学校、日系クリニック、日本人会など）
- ② 周辺の都市と比べ、企業運営コストが安い（最低賃金1,800元/月、社会保険の負担も軽い）
- ③ 平湖開発区は立ち退きのリスクが無い
- ④ 環境規制レベルは上海、蘇州より緩和されている。
- ⑤ 平湖開発区日本事務所を構え、日本国内でのサポートも可能（住所：大阪府中央区南船場1-12-22）

<日系食品製造工場の視察>

製造している商品は幼児の離乳食、ドレッシング類、大手飲食チェーンOEM製品などです。

同社の設立は2011年。資本金は600万米ドル、従業員は約50名です。設立当初は様々な苦労があったそうですが、昨年度から受注が軌道に乗り、今年7月からは工場の拡張工事が始まる

とのことでした。設立当初は、中国でも有名な日系企業パートナーの離乳食を生産していました。その後、現地での営業活動を積極的に展開し、販路開拓を進めた結果、台湾企業をパートナーとして業務提携を結び、販路が順調に広がっていきま



【幼児の離乳食を始め、様々な商品を製造している】

担当者の話によると、「進出したタイミングがよかった」ともおっしゃっていました。当時は一面が野原で、工場は数社しか出ていなかったそうです。だからこそ、平湖開発区との交渉により手厚いサービスやサポートを受けることができました。

また、進出当時の話で興味を引いたのは、同社が開発区を選定する段階で、平湖開発区が食品園区という構想を打ち出していたことです。そのため、同社工場の周辺には、今では森永製菓、日清食品、ハウス食品など、外資系食品工場が並んでいます。

中国では一度軌道に乗ると、受注量が日本とはケタ違いとなるため、生産が追いつかなくなるケースがよくあります。しかし、愛食客食品は余力のある生産能力や敷地を確保しておいたため、今の受注状況に対応できているのです。

中国の食品分野における日系企業は、日本食品の「安全、安心、高品質」というイメージのもと、総じて順調な経営が目立ちます。今後も愛食客食品はさらなる飛躍を目指しており、中国市場での存在感を増していくでしょう。今回訪問をした平湖開発区には、この他、日系企業に対して多数のメリットが存在しています。また、広島県府中市と友好都市であるという事から、広島県府中市の県内企業、又は府中市に限らず広島県内企業の皆様に対して少なからずご縁があるのではないかと感じました。広島県内企業の皆様も、中国での工場設立・移転の際には平湖開発区を候補の一つとして検討されてみてはいかがでしょうか。